【328】

氏　名（本籍）	李（い）　銀璡（うんじん）（韓　国）
学位の種類	博　士（デザイン学）
学位記番号	博　甲　第　6203　号
学位授与年月日	平成24年3月23日
学位授与の要件	学位規則第4条第1項該当
審査研究科	人間総合科学研究科
学位論文題目	**ソウル市における都市景観要素としての屋外広告物デザインのあり方に関する研究**

主　査	筑波大学教授	博士（工学）	野中勝利
副　査	筑波大学教授		穂積穀重
副　査	筑波大学准教授	博士（工学）	山本早里
副　査	筑波大学副学長	博士（デザイン学）	西川　潔
副　査	近畿大学准教授	博士（美術）	安　起瑩

論文の内容の要旨

（目的）

屋外広告物は宣伝や案内などの媒体であるとともに都市景観を構成する重要な要素の一つである。個性と魅力ある都市景観の形成は、都市の競争力にもつながる重要な課題となっており、景観形成に影響を与える屋外広告物のあり方が問われている。従前から屋外広告物は管理される対象であったが、その内容は社会状況によって変わり、また単なる違反広告物や景観阻害要素としての屋外広告物だけが問題ではない。景観形成における屋外広告物デザインのあり方を適切に定位することが求められている。そこで本研究では、都市景観要素として屋外広告物を位置づけ、そのデザインのあり方を明らかにし、今後の方向性を提示することを目的としている。

（対象と方法）

本研究では、まず東京、シンガポール、香港及びソウルの中心商業地域における屋外広告物の管理手法や掲出実態から、研究対象であるソウルの屋外広告物を相対的に位置づけている。そしてソウル市を対象として、広告物取締法の制定以降、法律の改正等を基準として5つの時期に分けて、ソウル市が発行する刊行物及び新聞や行政に関する専門誌などから当時の施策や屋外広告物の実態を調査した。現在の屋外広告物の掲出実態については、現地調査およびヒアリング調査を行った。そして屋外広告物デザインの管理施策の変遷を整理し、規制･誘導事項を4つの視点、すなわち「秩序」、「調和」、「自由･個性的な表現」、「アイデンティティ」から屋外広告物に求められる条件の変遷を分析した。さらに社会背景として同時代の都市政策や政治などとの関係から屋外広告物の管理施策を分析した。そして屋外広告物の都市景観要素としての屋外広告物デザインのあり方を明らかにし、今後の方向性を提示した。

（結果）

本研究の結論として、ソウル市における都市景観要素としての屋外広告物の管理施策は、屋外広告物デザインに関する大きさや形態、色彩、文字の面積などの条件が時期区分によって変わり、それらは当時の都市

政策や政治などによって影響を受けていることを明らかにした。さらに管理施策における屋外広告物デザインに求める条件を「秩序」「調和」「自由・個性的な表現」「アイデンティティ」の4つの視点から整理することによって、施策の変遷が相対化され、この手法によって屋外広告物デザインの今後の方向性が検討できることを提示した。

(考察)

屋外広告物デザインにおいては、都市景観形成に配慮しながら、広告物としての自由かつ個性的な表現をどのように活かしていくのかが重要な課題となる。現状の管理施策は、屋外広告物の規格や位置などの「秩序」が強調され、形状などの「自由・個性的な表現」に関する要素は相対的に位置づけが弱い。これを現在の問題である屋外広告物デザインの画一化傾向と関連づけ、その改善策としてパネルデザインの活用及び突出看板などの形状の個性的表現、デザインの質的審査の活用などが求められる。

審査の結果の要旨

研究対象であるソウル市の屋外広告物をアジア諸都市との比較から適切に位置づけている。時期区分の設定も合理的であり、同時代の都市政策や政治などの社会状況との関係から屋外広告物デザインの管理施策を、当時の公刊物や新聞記事から丹念に調査している。分析においては独自の視点から適切な方法論を構築している。研究の一部は日本デザイン学会等において投稿査読論文が採用されており、当該領域の学術進展に寄与する有用な結論を得ている。明らかになった有効な知見をもとに、今後の屋外広告物デザインの管理施策やデザイン手法への応用と良好な都市景観形成に寄与する発展が期待できる。

平成24年1月23日、学位論文審査委員会において、審査委員全員出席のもと論文について説明を求め、関連事項について質疑応答を行い、最終試験を行った。その結果、審査委員全員が合格と判定した。

よって、著者は博士（デザイン学）の学位を受けるに十分な資格を有するものと認める。